

日本の民主主義を守れ！

強行採決に断固抗議する

違憲は明白、廃案しかない

安倍政権は15日、衆院安保特別委員会で「戦争法案」の採決を強行しました。法案は審議すればするほど反対が増え、世論調査では5/6割が「違憲」、8割が「政府の説明は不十分」、6割が「国会反対」です。採決強行は、国民の反対と慎重審議を求める世論を踏みにじる暴挙と言っほかありません。

STOP戦争法案



毎日新聞より シールズが呼びかけた10日の国会前集会

戦争法案反対 劇的に広がる運動

立ち上がる青年たち

「自由と民主主義のための学生緊急行動（SEALDs＝シールズ）」が呼びかけた10日の国会前集会には、子連れから学生、高齢者まで、幅広い世代が国会正面近くの歩道にあふれ、主催者発表で1万5000人以上が集合。シールズはさらに参加を増やしながら連日、国会を包囲しています。関西シールズも京大でのシンボなど、連日取り組み中。

学者アピールに10056人に

学者61人が呼びかけた「安保関連法案反対」のアピールへの賛同は1か月足らずで1万人を超えました。

宗教者 宗教・宗派こえて広がる

真宗大谷派は宗務総長名の宗派声明、本山修験宗は、撤回決議、天台寺門宗・総本山三井寺は廃案求める声明。

全弁護士会が意見書

日本弁護士連合会は役員85人（全国52の単位弁護士会の会長全員を含む）が全会一致で意見書。京都弁護士会でも歴代会長の有志24人が声明を発表。

憲法遵守を宣誓した自治体労働者として

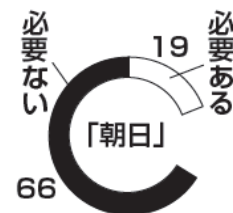
府職員の思いは…

これから日本は、どのようになるのだろうか。支援という形でも戦争現場に行くことは、自衛隊員不足→民間人を自衛隊へ→戦争拡大→武力強化。どんどんと日本は軍事国家へととなりつつあるのでしょうか。表面的には戦争反対をうたいながら。

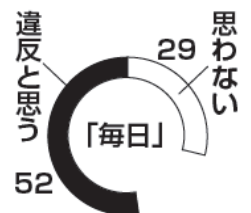
日本が攻撃されていなくても政府の判断で自衛隊派遣・武力行使ができることは許されないと考えます。

全ての弁護士会が反対しているのに、こんな法律ができてしまうというのは、そもそも司法と立法の関係がしくみとしておかしいのでは。

法案の今国会成立



法案の合憲性



瀬戸内寂聴さん、93歳の国会前訴え

京都府職員労働組合連合

2015. 7. 16

Tel.075-451-7868 fax075-432-2006

✉ mail@k-fusyoku.jp